

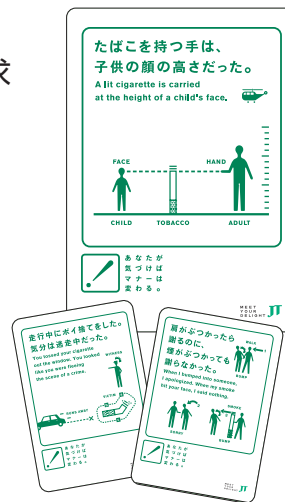
## たばこを吸われる方と吸われない方が共存できる社会の実現に向けて

### 新喫煙マナー広告展開

#### 「喫煙マナーを守ることの重要性」訴求

たばこ会社として喫煙マナー向上活動への決意表明を盛り込んだ新たな喫煙マナー広告を、これまでにない規模、表現で全国のテレビ、新聞、交通機関、街頭などで3月14日から31日まで集中的に実施しました。

この広告のコンセプトは、たばこを吸われる方が、自分では気づかないうちに、吸われない方に迷惑をかけてしまっている—そんな喫煙の身近なシーンをキャッチやイラストで示しながら、「気づき」「考え」「行動」していただく表現となっています。また、この広告を基に、6種類の店頭用ステッカーを用意し、全国のたばこ販売店の店頭で6月から掲出しています。今後も、マスメディアやイベントなど様々なシーンを活用して喫煙マナーを訴えていきます。



▲店頭用ステッカー

▶新聞広告



### 街の清掃活動「喫煙マナー向上」を呼びかけ

JTでは長年にわたり、喫煙マナー向上を呼びかけながら、街の清掃活動を行っています。JTの全事業所の周辺をはじめ、観光地、自治体主催のイベント会場、駅周辺の街頭など様々な場所で、社員自ら、あるいはたばこ販売組合、一般の方々とともに年間を通して清掃活動をしています。2004年度からは、清掃活動用のユニフォーム（Tシャツ・ブルゾン・キャップ・エプロン・サンバイザー）のデザインを新喫煙マナー広告のロゴやイラストをプリントしたものに刷新。清掃活動中、たばこを吸われる方がこのデザインに触れ、自身の喫煙マナーについて「気づき」「考え」「行動」していただければと考えています。



▲社員による清掃活動

### たばこをスマートに楽しむ提案 “Smokers' style”

「たばこを愛する大人として、ルールやマナーはもちろん周りの人への配慮を忘れず、自分の愛するたばこをスマートに最大限に楽しんでいくというスタイル“Smokers' style (スモーカーズ・スタイル)”を様々な取り組みを通じて提案しています。この一環として2003年、快適な喫煙スペースを提供するイベントカー「SmōCar 1 (スモーカー1)・SmōCar 2 (スモーカー2)」の投入、喫煙スペース「Smokers' style 秋葉原店」の設置、また最新の分煙設備を完備した「新千歳空港ターミナル内の喫煙スペース」を北海道空港ビルと共同で設けました。

▼「SmōCar 2」



### “Smokers' style”を実践する清掃隊

#### 「Smokers' style CREW」

たばこメーカーとしては初めて、公道上のスタンド灰皿の吸いからの回収と周辺の清掃を行う清掃隊「Smokers' style CREW (スモーカーズ・スタイル・クルー)」を投入。3月より台東区浅草橋周辺にて試験活動を開始、4月より渋谷駅周辺に展開し、喫煙マナーの向上と環境美化を訴えています。

▶「Smokers' style CREW」



## ■ たばこの気になるにおいを抑えた「低臭気製品 (ディー・スペック)」

▼ポスター

約6年の基礎研究を費やして開発に成功した、たばこの気になるにおいを抑えた「低臭気製品」(D-spec (ディー・スペック)) —「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」、「マイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックス」、「マイルドセブン・プライム・メンソール・ライト・ボックス」を発売しました。

これらの製品は、たばこ本来の味・香りは極力活かし、気になるにおいを抑える効果のあるシトラスフレーバー香料（特許出願済み）を開発・採用して、たばこの気になるにおいを低減しました。なお、当技術に加え、別の製法も取り入れ、たばこの先から立ち昇る煙（副流煙）を抑えています（当社従来品比）。



## 未成年者の喫煙防止に向けた活動

### ■ たばこ自動販売機への「成人識別機能」搭載（導入検証に協力）

「未成年者喫煙防止」「未成年者のたばこへのアクセス防止対策」の一環として、全国たばこ販売協同組合連合会・日本自動販売機工業会・社団法人日本たばこ協会は、「成人識別機能」を搭載したたばこ自動販売機の2008年の全国一斉稼働を目指した共同開発に取り組んでいます。JTは、社団法人日本たばこ協会の一員として、この共同開発に協力しています。

これまでに、千葉県八日市場市で2002年4月からの1年間、第一次導入検証を行い、2003年4月からは、成人識別機能の部品設置スペースを備えた自動販売機への置き換えを順次行っています。

最終仕様の策定、開発を進めることを目的として2004年5月からは、第二次導入検証を鹿児島県種子島（西之表市・中種子町・南種子町）で開始しています。



自動販売機の読み取り部分にICカードをかざすとたばこを購入できる



電子マネー機能付きICカード(見本)



▲成人識別機能付たばこ自動販売機

### ■ 関係団体との連携を一層強化「未成年者喫煙防止」

未成年者喫煙問題は、たばこ業界だけで解決できる問題でなく、家庭教育も含め社会全体で取り組む必要のある問題です。JTとしても、未成年者喫煙防止に向け、今後とも引き続き諸対策に積極的に取り組んでいくとともに、関係団体との連携を一層強化していきたいと考えています。JTを含め業界として現在行っている具体的な活動は右記のとおりです。

#### 1 たばこ販売店頭での啓発活動

- 全国のたばこ販売店の店頭へ未成年者喫煙防止訴求ツール(ステッカー等)を掲出。
- たばこ自動販売機への「未成年者喫煙防止ステッカー」の貼付。

#### 2 マスメディア等による未成年者喫煙防止啓発広告活動

- JT: 新聞広告
- 日本たばこ協会: テレビ・雑誌広告(2003年度)

#### 3 地域における未成年者喫煙防止活動

- 各地域のたばこ販売組合、自治体・警察署等関係機関との「未成年者喫煙防止協議会」の実施。
- 各地域の関係機関と連携した啓発キャンペーン等への参加、講習会の実施。
- 日本たばこ協会: 全国の中学校・高等学校や自治体等関係機関での「未成年者喫煙防止啓発ポスターキャンペーン」の実施(2003年度)。

#### 4 自動販売機の深夜稼働自粛

- たばこ販売組合による屋外設置自動販売機の深夜稼働自主規制の実施。

#### 5 広告・販売促進活動に関する業界自主規準の設定およびその遵守

- 未成年者向け広告・販売促進活動の自粛。

◀新聞広告

▼ステッカー

